

次期JAIRO Cloud(WEK03)
本番移行
データ移行仕様について

2021.6.18

JAIRO Cloud事務局

改訂日	改訂内容
2021/6/18	初版発行
2021/7/2	<ul style="list-style-type: none">・ p.18 : 「削除済みアイテムタイプは移行していません」を「削除済みアイテムタイプ及びそれに紐づくアイテムは移行していません」に訂正し、「【参考】本番移行直前に再度復活作業を行います。JAIRO Cloud利用機関宛メールをお待ちください。」を追加・ p.23 : 「Preprint / Others」の移行先の「others」を「other」に訂正（誤字）・ p.32 : 「WEKO2でTIFFフォーマットで登録されているサムネイルがある場合、TIFFのままデータ移行されWEKO3では表示されません。」を追加・ p.46 : JaLC DOIの「※自動採番の場合、suffixはitem_idと一致する」を「※自動採番の場合、suffixはYハンドルのsuffixと一致する」に訂正

1. 本ドキュメントについて
2. 概要
3. アイテム、アイテムタイプ、コンテンツファイル
4. インデックス
5. ページレイアウト、モジュール
6. WEKO2管理情報
7. URL仕様

1. 本ドキュメントについて

- 記述の簡素化のため「現行JAIRO Cloud (WEKO2)」を「WEKO2」、「次期JAIRO Cloud (WEKO3)」を「WEKO3」と略記します
- 本番移行（2021/6～10）におけるWEKO2からWEKO3へのデータ移行仕様の要点をまとめたものです
- [第二次βテスト](#)（2020/10～11）及び[先行移行](#)（2021/3）の「移行仕様について」を改訂しています
 - 黒字 = 第二次βテスト時点の記述
 - 赤字 = 新規追加 or 削除して上書き（第二次βテストからの改訂点）
 - 緑字 = 新規追加 or 削除して上書き（先行移行からの改訂点）
 - ~~取り消し線~~ = 制限事項等が解消された場合
- 強調点については**太字**にしています

- データ移行が仕様通りに正しく行われていても、WEKO3本体プログラムの障害によって仕様通りではないように見える場合があります。
移行データの確認に関連する障害については、便宜のため本ドキュメントにも掲載し、**【WEKO3本体】**と記しています
- WEKO3本体プログラムの障害は、「**JAIRO Cloud (WEKO3) サポートサイト**」の「リリースノート」にも掲載しています
<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/display/JAIROCloudWEKO3>

2. 概要

各グループの「JAIRO Cloud (WEKO2) 更新停止」以降のWEKO2本番データが移行されています

#	種別	内容	備考
1	アイテムタイプ	全データ	詳細は本ドキュメント§3、別紙「アイテムタイプマッピング表」を参照
2	アイテム	全データ（一度も登録が完了していないものは除く）	詳細は本ドキュメント§3、別紙「アイテムタイプマッピング表」「エラー及びワーニングアイテム一覧」を参照
3	コンテンツファイル	#2に紐づくデータ	詳細は本ドキュメント§3を参照
4	サムネイル	#2に紐づくデータ	
5	アイテム間リンク	#2に紐づくデータ	
6	統計情報	全データ	段階的に移行を行います。詳細は別紙「本番移行_移行スケジュール」を参照
7	ユーザ	全データ	
8	インデックス	全データ	詳細は本ドキュメント§4を参照
9	著者名典拠 (WEKO3では著者DB)	全データ	
10	ページレイアウト	パブリックスペースの全データ	詳細は本ドキュメント§5を参照
11	モジュール (WEKO3ではウィジェット)	移行対象モジュール（お知らせ、新着情報、アクセスカウンター、リンクリスト、メニュー）の全データ	詳細は本ドキュメント§5を参照
12	WEKO2管理情報	外部著者ID Prefix、Prefix、NetCommons2システム管理情報	詳細は本ドキュメント§5を参照

- 本番移行では全件のアイテムを移行していますが、一部機関の一部のアイテムについては**エラー**及び**ワーニング**が発生しています
 - エラー：アイテムが移行されていない
 - ワーニング：アイテムは移行されているが何らかの問題がある
- 対象アイテムや原因については別紙「**本番移行_エラー及びワーニングアイテム一覧**」をご確認ください

3. アイテム、 アイテムタイプ、 コンテンツファイル

アイテムタイプ及びアイテムのメタデータ項目は、次の基本方針で移行しています。詳しくは別紙「**本番移行_アイテムタイプマッピング表**」（以下「マッピング表」）をご確認ください

- WEKO2のメタデータ項目に設定された「**入力タイプ**」（属性）と「**junii2マッピング**」の組み合わせをキーにして、WEKO3において移行先となるメタデータ項目の**プロパティ**を定めています（p.16～17参照）
- WEKO3のプロパティは**JPCOARスキーマver1.0.2**に準拠しています
- WEKO2の**項目名**、**多言語設定**（WEKO3ではLocalization Settings）、**オプション**（必須、複数可否、一覧表示、改行指定、非表示）はそのまま移行しています
- WEKO2の複数のメタデータ項目について、移行先のメタデータ項目で同じプロパティが適用される場合でも、**原則、項目の統合は行わず別の項目として移行されます**

※一部の項目（タイトル⇔タイトル（英）、キーワード⇔キーワード（英）、著者⇔著者（英）、研究代表者⇔研究代表者（英））は統合されます。項目名、多言語設定、オプションは移行ツールで新たに設定されます。なお、著者や研究代表者の統合ではWEKO著者IDをキーにしています

WEKO2のメタデータ項目がどのように移行されるかを調べてみます（事前にそのメタデータ項目のjunii2マッピングと入力タイプの設定を調べてください）。

まずは、そのメタデータ項目の**junii2マッピング**に該当する箇所をD列（junii2マッピング）から探してください。junii2マッピングが未設定の場合は「-」になっている箇所（複数あります）を探してください。

【参考】C列（項目名）は基本的に「-」になっていますが、値が入っている場合は、①WEKO2では項目名を変更できない項目か、②項目名を移行条件にしている項目、です。

B	C	D	E	F	G	
ロバティ作成						
#	項目名	WEKO2 junii2 マッピング	テキスト	テキストエリア	リンク	チャ
1	タイトル	title ※統合する場合	・タイトルに値を入れる ・「(英)」を含むプロパティに値がある場合は、繰り返し項目として入れる			
	タイトル(英)		項目名に「(英)」または「(英)」を含めば「en」を設定、それ以外であればNULLとして移行する			
2	-	title	・タイトルに値を入れる 項目名に「(英)」または「(英)」を含めば「en」を設定、それ以外であればNULLとして移行する	#76 参照	#77 参照	#78 参
3	言語	language				

次に、メタデータ項目の**入力タイプ**と一致する箇所をE列～Q列から探してください。

そこには、WEKO3のプロパティにどのような値が移行されるか記載されています（S列～Y列と併せてご確認ください）。

ここに「#〇〇 参照」と書いてある場合は、該当の項番（Excelの行番号ではありません）をご確認ください。

【参考】斜線は存在しないケースを意味します。

	J	K	L	M	N
	WEKO2入力タイプ				
イ)	選択式(プルダウン)	氏名	書誌情報	日付	ファイル
	#80 参照	#81 参照	#83 参照	#86 参照	#89 参照
	言語にプルダウンで選択されていた値を入れる				
				日付のみ移行する（時	

マッピング表の見方：R列～AD列

	R	S	T	U	V	W	X
	WEKO3 プロパティ情報						
	項目名	プロパティ名	プロパティ定義				
デフォルト： タイトル 日本語： タイトル 英語： Title	タイトル	タイトル	タイトル	Text	-	-	-
			言語	Select	-	-	-
デフォルト： タイトル 日本語： タイトル 英語： Title	タイトル	タイトル	タイトル	Text	-	-	-
			言語	Select	-	-	-
デフォルト： 言語 日本語： 言語 英語： Language	言語	言語	言語	Select	-	-	-

R列～AD列にはWEKO3での移行先項目（項目名、多言語設定、プロパティ、オプション）について記載しています。

R列はWEKO3での**項目名**です。基本的にはWEKO2の項目名がそのまま移行されるため「WEKO2 項目名（デフォルト）」となっています（**多言語設定**も同様）。

S列～Y列は**プロパティ**構造です（最大で3階層になっています）。

Z列～AD列は**オプション**です。基本的にはWEKO2の項目名がそのまま移行されるため「WEKO2 オプション」となっています。

AE列には詳しい**移行条件**を記載しています。

移行時に複数項目が統合される場合（#1、#5、#8、#9、#33、#34）や、移行仕様がアイテムタイプに依存している場合等、特殊なケースについてもこちらをご確認ください。

AF列とAG列はそのプロパティに設定された**Dublin Coreマッピング**と**JPCOARスキーママッピング**です。いずれもWEKO2から移行したのではなく、データ移行ツールで設定したのになります。必要に応じて、移行後に設定変更してください。

AD	AE	AF	AG
表示	移行条件	Dublin Coreマッピング	JPCOAR スキーマ
	<p>※WEKO2のアイテムタイプに必ず作成される項目です（項目名、junii2マッピング、入力タイプは変更不可）</p> <p>【統合条件】 「タイトル」のプロパティが2つあること かつ 片方のプロパティの項目名に「(英)」または「(英)」が含まれること</p> <p>※条件を満たさない場合は #2 として移行します ※統合に関して、「タイトル」と「タイトル(英)」はマージされますが、その他にWEKO2で junii2:title を持つ項目名がある場合はマージされません。そのため、3つ目からは別のプロパティとして移行します</p>	title	dc:title
x		-	xml:lang
EKO オブ ジェ クト	junii2マッピングが「title」であること	title	dc:title
		-	xml:lang
x	<p>※WEKO2のアイテムタイプに必ず作成される項目です（項目名、junii2マッピング、入力タイプは変更不可） また、WEKO2のアイテムタイプ編集画面では入力タイプ「テキスト」と表示されますが、実際には「プルダウン」となります</p> <p>junii2マッピングが「language」であること</p>	language	dc:language

入カタイプ (属性)

WEKO > 編集 > アイテムタイプ
 プ > アイテムタイプ編集 > メ
 タデータ編集

WEKO

アイテムタイプ アイテム管理 ツリー編集 査読/承認 インポート レポート 管理 著者名典拠 プロ...

アイテムタイプ選択 メタデータ編集 アイテムタイプアイコン登録 確認

アイテムタイプ: 学術雑誌論文 / Journal Article

項目名	属性	オプション	入替	削除
タイトル	テキスト	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 複数可 <input type="checkbox"/> 一覧表示 <input type="checkbox"/> 改行指定 <input type="checkbox"/> 非表示		

junii2マッピング

WEKO > 編集 > アイテムタイ
 プ > アイテムタイプ編集 >
 マッピング設定

※プルダウン=junii2

WEKO

アイテムタイプ アイテム管理 ツリー編集 査読/承認 インポート レポート 管理 著者名

アイテムタイプ選択 マッピング設定 確認

アイテムタイプ: 学術雑誌論文 / Journal Article Journal Article

メタデータ名	入カタイプ	Dublin Core	junii2
タイトル	テキスト	title	title/alternative
タイトル(英)	テキスト	title	title/alternative
言語	選択式(プルダ ウン)	language	language
公開日	日付	date	date

- WEKO3の「プロパティ」は階層構造を持った情報のグループで、WEKO2の「入力タイプ」に相当します
- WEKO2の各メタデータ項目は、WEKO3であらかじめ用意されているプロパティ（JPCOARスキーマver1.0.2に則って作成）に移行されます

例：「タイトル」プロパティ（「タイトル」と「言語」の2つのサブプロパティを持つ）

The screenshot shows the 'Properties' configuration interface in WEKO3. At the top, there is a header bar with the label 'プロパティ名' (Property Name) and a text input field containing 'タイトル' (Title). Below this, the main configuration area contains two sub-property entries. The first entry is for 'タイトル' (Title), with a data type of 'Text', an unchecked 'Required' checkbox, and a delete button (X). The second entry is for '言語' (Language), with a data type of 'Select', an unchecked 'Required' checkbox, and a delete button (X). Below the second entry is a text input field containing the language codes 'ja|ja-Kana|en|fr|it|de|es|zh-cn|zh-tw|ru|la|ms|eo|ar|el|ko'. At the bottom of the configuration area is a green button with a plus sign and the text '+ Add'.

- 同じ名称のアイテムタイプが存在する場合、名称の末尾に「_(1)」 「_(2)」 ……と付与して移行しています
- ~~削除済みアイテムタイプ及びそれに紐づくアイテムは移行していません（ただし、一部の機関では削除済みアイテムタイプに紐づくアイテムが存在していたため、すべての削除済みアイテムタイプを復活させたうえで紐づくアイテムを移行するという対応を取っています）~~ →本番移行では（第二次βテスト同様）「復活」処理はしていません
【参考】2020/7/7付、JAIRO Cloud利用機関宛メール『次期JAIRO Cloud（WEK03）移行に向けたデータ整備（削除済みアイテムタイプの復活）』（「現行JAIRO Cloud環境で、削除済みアイテムタイプに未削除のアイテムが紐づいている場合、対象となる削除済みアイテムタイプの復活作業を行います。また、復活作業後は、削除済みアイテムタイプの使用はお止めください。」）
【参考】本番移行直前に再度復活作業を行います。JAIRO Cloud利用機関宛メールをお待ちください。
- ~~WEK02から移行された環境にはWEK03のデフォルトアイテムタイプは作成されません。~~ →本番移行環境には「デフォルトアイテムタイプ（フル）」 「デフォルトアイテムタイプ（シンプル）」というデフォルトアイテムタイプが作成されています。なお、ハーベスト用デフォルトアイテムタイプの提供は後日の予定です。

- 「見出し」（マッピング表、項番83）の移行に対応しました
- 「NCID」（マッピング表、項番16）の移行で、NACSIS-CAT2020で追加された「BC～」の場合にも対応しました
- 移行直後は、各アイテムタイプに対して1つのワークフローが用意されています（使用されているフローは「Start > Item Registration > Item Link > Identifier Grant > Approval > End」になります）
- アイテムタイプはバージョン1として移行されます。（参考：【WEKO3本体】第二次βテストではアイテムタイプのバージョン管理機能が有効になっていましたが、先行移行・本番移行では無効としており、アイテムタイプの編集によってバージョンアップは行われません。）

- ~~・ハーベスト用アイテムタイプが標準アイテムタイプとして移行されてしまっ
ています【本番移行時には解消予定】~~ →先行移行で対応しました
- ~~・同一内容のプロパティでも、アイテムタイプが異なれば別々の（重複した）
プロパティを作成し、プロパティ名の末尾に「_001」「_002」……と付与
しています【本番までに対応要】~~ →先行移行で対応しました
- ~~・本番移行では、移行ツールで作成する全てのプロパティの言語属性を、現状
の選択肢（「ja|en」または「ja|ja-Kana|en」）から、WEKO2相当の選択
肢（「ja|ja-Kana|en|fr|it|de|es|zh-cn|zh-tw|ru|la|ms|eo|ar|el|ko」）
に変更予定です【本番までに対応要】~~ →先行移行で対応しました

- 本文ファイルのライセンス情報（クリエイティブ・コモンズ・ライセンス）はバージョン3.0として移行されます（WEKO3ではバージョン4.0の選択も可能）
- 【WEKO3本体】WEKO2で「Flash表示」以外の設定になっているアイテムは、WEKO3側のアイテム詳細画面で本文ファイルをプレビューしようとしても表示されません（WEKO3本体プログラムの仕様）
- 「非公開（登録中）」と「非公開（査読待）」のアイテムは、非公開アイテムとして移行しています
- WEKO2で一度も登録が完了していないアイテムは移行されません（「非公開（登録中）」のアイテムに、一度も登録が完了していないものが含まれていることがあります）
- 削除済みインデックスにのみ紐付いているアイテム、あるいは、インデックスに紐付いていないアイテムについては、WEKO3に作成した非公開の「**削除済みインデックス**」に所属させて移行しています
- 論理削除済みアイテム（2020年8月以降に削除したものに限定）を論理削除済みアイテムとして移行しています（WEKO3で、OAI-PMH出力時に削除（delete）レコードを出力するためです）

- WEKO2の「言語」が「その他の言語」の場合はNULLとして移行しています（JPCOARスキーマに「その他の言語」に該当する選択肢がないため）
- データ移行時に、文字列から「CR/LF/HTを除く0x1F以下の文字と、DEL (0x7F)」を削除しています（これらの非ASCII文字が含まれているとWEKO3では画面表示時にエラーになるため）
【参考】画面出力時には文字列中の改行コードを
に変換して表示するようにします[本番までに要対応] →先行移行で
に変換するように対応しました
- WEKO2で特殊な扱いをされる「&EMPTY&」はそのまま移行しています（WEKO3でも空要素に置き換えて出力されます）
- CNRIハンドルが重複しているアイテムが複数存在している場合は、2つ目以降のアイテムからCNRIハンドルを削除して移行しています
- 「公開日」（マッピング表、項番4）のDubline Coreマッピングを「date」から「未設定」に変更しました
- 「textversion」（マッピング表、項番24）の移行で、値が空値やNullの場合にも対応しました
- 「textversion」（マッピング表、項番24）の入力タイプが「選択式(プルダウン)」の場合、「出版タイプ」プロパティに移行されるように変更しました

WEKO2でアイテムタイプに紐づけられた**資源タイプ (junii2:NIItype)** は、下表に従い、**各アイテムのメタデータ項目のひとつ**として移行しています（WEKO3ではアイテムタイプと資源タイプの紐付けはないため、同一アイテムタイプの異なるアイテムに別々の資源タイプを設定できます）

WEKO2 資源タイプ (junii2:NIItype)		WEKO3 資源タイプ (dc:type)	WEKO3 資源タイプ識別子 (rdf:resource)
Conference Paper	⇒	conference paper	http://purl.org/coar/resource_type/c_5794
Departmental Bulletin Paper		departmental bulletin paper	http://purl.org/coar/resource_type/c_6501
Journal Article		journal article	http://purl.org/coar/resource_type/c_6501
Article		article	http://purl.org/coar/resource_type/c_6501
Book		book	http://purl.org/coar/resource_type/c_2f33
Presentation		conference object	http://purl.org/coar/resource_type/c_c94f
Data or Dataset		dataset	http://purl.org/coar/resource_type/c_ddb1
Research Paper		research report	http://purl.org/coar/resource_type/c_18ws
Technical Report		technical report	http://purl.org/coar/resource_type/c_18gh
Thesis or Dissertation		thesis (著者版フラグがETD以外) doctoral thesis (著者版フラグがETD)	http://purl.org/coar/resource_type/c_46ec http://purl.org/coar/resource_type/c_db06
Learning Material		learning object	http://purl.org/coar/resource_type/c_e059
Software		software	http://purl.org/coar/resource_type/c_5ce6
Preprint / Others		other	http://purl.org/coar/resource_type/c_1843

以下は移行仕様に注意が必要なケースです。詳しくはマッピング表をご覧ください。

① 関連情報 (jpcoar:relation)

- NII資源タイプ「図書」かつアイテムタイプ名「図書の一部 / Book」以外の場合
 - ISSN : jpcoar:relation (relationType=isPartOf) として移行
 - ISBN : relationType=isIdenticalToを追加
 - 書誌レコードID : 他の資源タイプでjpcoar:sourceIdentifierにマッピングされる場合は、jpcoar:relation (relationType=isPartOf) として移行。jpcoar:relationにマッピングされる場合は、relationType=isIdenticalToを追加
- NII資源タイプ「図書」かつアイテムタイプ名「図書の一部 / Book」の場合
 - ISBN : relationType=isPartOfを追加
 - 書誌レコードID : relationType=isPartOfを追加

② 出版タイプ (oaire:version)

- 著者版フラグ「author」 → 出版タイプ「AM」
- 著者版フラグ「publisher」「ETD」 → 出版タイプ「VoR」
- 著者版フラグ「none」 → 破棄 (NULL)
- 著者版フラグ「author/publisher/none以外の値」 → 出版タイプ「NA」
- 著者版フラグの要素無し (空値、Null) → 出版タイプ「NA」
- 資源タイプが「Preprint」 → 出版タイプ「AO」

③ アクセス権 (dcterms:accessRights)

- 著者版フラグ「ETD」 → アクセス権「open access」をセット
- コンテンツ本体が無いアイテム → アクセス権「metadata only access」をセット

- ~~【WEK03本体】PDFカバーページの画像がアイテム詳細画面のプレビューに表示されません【本番移行時には解消予定】 → 解消しました~~
- ~~【WEK03本体】姓名の漢字とヨミの両方を入力している場合、アイテム詳細画面で漢字の情報が表示されません【本番移行時には解消予定】 → 解消しました~~
- ~~Yハンドル (<http://id.nii.ac.jp/~>) がメタデータの「識別子」(jpcoar:identifier) に移行されてしまっています【本番移行時には解消予定】 → 解消しました (アイテム詳細画面のPermalink欄にYハンドルが表示されることもありません)~~
- ~~【WEK03本体】姓名に「&EMPTY&」を使用していた場合、アイテム詳細画面で「,」と表示されます [本番までに対応要] → 先行移行で対応しました~~

- WEKO2で論理削除されたコンテンツファイルは移行していません
- コンテンツファイルの表示順をそのまま移行しています
- コンテンツファイルの自由入力のライセンスを移行しています
- 同一アイテムに同じファイル名称のコンテンツファイルが複数存在した場合は、ファイル名称の末尾に「_(1)」 「_(2)」を付与して移行しています

- ~~別紙「βテスト対象アイテム一覧」の通り、移行に失敗したエラーアイテムが一部存在します（PDFに特殊な文字が含まれている、パスワード付きPDF、削除済みインデックスに紐づくアイテム、など）。その影響で、一部機関では、検索結果一覧画面で表示順＝Date of Issued（発行日）を選択するとエラーになります。【本番移行時には解消予定】~~ →第二次βテストで解消済みです
- ~~【WEKO3本体】アイテム詳細画面でゲストユーザにはJPEGファイルのプレビューが表示されません【本番までに対応要】~~ →本番移行で対応しました
- ~~【WEKO3本体】アイテム詳細画面下部のメタデータ欄（表形式）の「ファイル情報」は本番までに非表示にします【本番までに対応要】~~ →先行移行で対応しました
- ~~【WEKO3本体】ファイル情報プロパティに「本文URL」を手動入力した場合に、OAI-PMH出力時に「https://{FQDN}/ファイル名」と出力されます【本番までに対応要】~~ →先行移行で対応しました
- ~~【WEKO3本体】PDFカバーページの「Keywords」「URL」「OA Policy」が表示されず、「Publisher」「Author」は日本語表示がされません【本番までに対応要】~~ →先行移行で対応しました（「OA Policy」欄は出力する情報がないため削除しました）

- JPCOARスキーマver1.0.2でのOAI-PMH出力に対応しました
(metadataPrefixは「jpcoar_1.0」となります)
- Dublin Core形式でのOAI-PMH出力に対応しました。プロパティの構造が異なるため、WEKO2のアイテムタイプのDublin Coreマッピング設定をそのまま移行するのではなく、データ移行ツールで新たにマッピングを設定しています（詳しくはマッピング表をご確認ください）
- WEKO3ではjunii2には対応しておらず、junii2形式でのOAI-PMH出力もできません（WEKO2のアイテムタイプのjunii2マッピング設定を移行していません。また、アイテム詳細画面から[junii2]ボタンを削除しました）

- Mapping画面（管理画面＞Items＞Mapping）でJPCOARスキーマの「出版タイプ」「バージョン情報」へのマッピングを設定する際、現在は以下のように定義する必要があります [本番までに対応要]
 - oaire:version ⇒ Mapping画面では「~~versiontype~~」を選択 →先行移行で「version(oaire)」を選択できるように対応しました
 - datacite:version ⇒ Mapping画面では「~~version~~」を選択 →先行移行で「version(datacite)」を選択できるように対応しました
- DDI（Data Documentation Initiative）形式でのOAI-PMH出力は確認できません（Mapping画面でDDI形式へのマッピングを設定すると「サーバー内部エラー」が発生します） [本番までに対応要] →本番移行でも一部の場合にサーバ内部エラーが発生します

4. インデックス

- インデックスの情報は基本的にそのまま移行しています
 - インデックスID
 - インデックス名称（日・英）
 - インデックスツリーの表示順
 - インデックス閲覧権限、投稿権限
 - ※ただし、インデックス閲覧権限(グループ)とインデックス投稿権限(グループ)は移行対象外)
 - more設定
 - サムネイル
 - ONLINE ISSN
- ~~雑誌情報をそのまま移行しています~~ 【2020/10/26訂正】 →先行移行で雑誌情報の移行に対応しました
- インデックスの表示順序設定（WEKO3では管理画面＞Items＞Custom Sort）を移行しています

- ~~インデックス閲覧権限と投稿権限は移行対象外になっています。そのため、インデックスにベース権限が設定されている場合、非ログイン時に表示されるインデックスツリーがWEKO2とWEKO3を比べた際に差異がある場合があります【本番移行時には解消予定】~~
→先行移行で解消しました
- ~~インデックス名称に'/'(半角スラッシュ)が含まれている場合、移行後にSQLで'/'(全角スラッシュ)に補正しています【本番移行時には解消予定】~~ →先行移行で解消しました
- ~~一部の雑誌情報が移行されていません【本番までに対応要】~~ 【2020/10/26訂正】 →そのためインデックスリストには情報が不完全な雑誌情報ブロックが表示されています →先行移行で対応しました
- 第二次βテストでは英語名称だけのインデックスが移行されていない不具合がありましたが、先行移行で対応しました
- WEKO2でTIFFフォーマットで登録されているサムネイルがある場合、TIFFのままデータ移行されWEKO3では表示されません。

5. ページレイアウト、 モジュール

1. ページレイアウトの移行

① 移行対象

- パブリックスペース（一般に公開されているページ）のページのみとなります（グループスペース、プライベートスペースは移行対象外）

② ヘッダウィジェットの配置

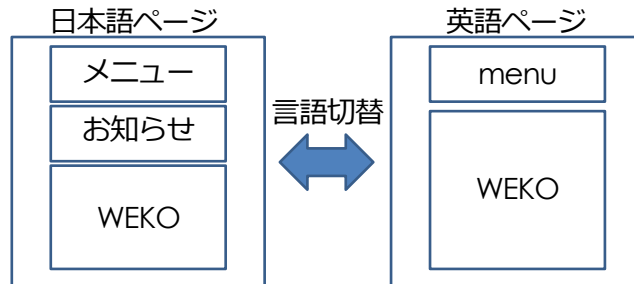
- WEKO3ではヘッダウィジェットがデフォルトで配置されます。現行JAIRO Cloudのヘッダ部分の最上段に配置されているお知らせモジュールをヘッダウィジェットとして移行します

2. ページレイアウトのご留意事項

① 多言語対応（次頁参照）

- WEKO3のページレイアウト機能は多言語対応していますが、現行JAIRO Cloudとは異なり、各言語全て同じレイアウト(ウィジェットの配置)となります。そのため、WEKO3への移行では、言語ごとに異なるページとして移行します

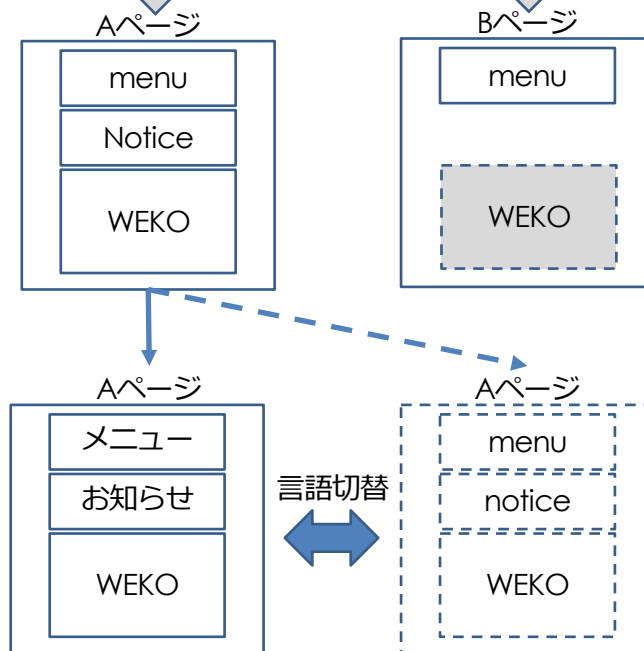
現行 JAIRO Cloud (WEKO2)



- 言語ごと（日本語ページ、英語ページ）に異なるページレイアウトが可能

別ページとして移行

次期 JAIRO Cloud (WEKO3)



- 言語によらずページレイアウトが共通
- WEKOウィジェットは1つのページにのみ配置可能(今後改善を検討中)

※WEKO3では、日本語ページと英語ページを別のページ（左図のA、B）に移行します

※必要に応じて移行後にページの統合作業をお願いします（Bを削除し、Aの英語ページに移行）

1. モジュールの移行

- ① 移行対象（次頁参照）
- ② モジュール内のコンテンツ
 - ・ 自リポジトリ内部のURLに特定の形式でリンクしている場合は、リンク切れのないようにWEKO3の形式に変換されます（本ドキュメント§7、列「変換（モジュール）」参照）
 - ・ ~~画像ファイルはBase64にエンコードして移行しています。そのためコンテンツをHTMLで編集しようとする、画像が文字列として表示されます。~~ → 第二次βテストで、Base64エンコードせずに移行するように変更しました。併せて、画像以外のファイル（Word、Excel、PDF等）が移行できていなかった問題にも対応しました → 【WEKO3 本体】 先行移行でも、ウィジェットに新規に画像ファイルを添付するとBase64エンコードされる問題、画像以外のファイルが添付できないという問題があります [本番移行までに要対応] → 本番移行でいずれも対応しました。

2. モジュール移行のご留意事項

- ① デザインの再現性
 - ・ 可能な限りWEKO2のデザインに近付けるよう配色などを調整しています
- ② New arrivalsウィジェット（←新着情報モジュール）
 - ・ ウィジェットで指定した日数（0～30日）以内に公開されたアイテムが表示されるため、移行されたアイテムの更新日によっては表示されていないことがあります

WEKO2 (モジュール)	⇒	WEKO3 (ウィジェット)
WEKOモジュール	⇒	Main Contentsウィジェット
お知らせモジュール		Noticeウィジェット
新着情報モジュール		New arrivalsウィジェット
アクセスカウンターモジュール		Access counterウィジェット
リンクモジュール		Free descriptionウィジェット
メニューモジュール		Menuウィジェット
お知らせモジュール (ヘッダ部分の最上段)		Headerウィジェット
		Footerウィジェット
RSSモジュール		廃止
FAQモジュール		廃止
iframeモジュール	⇒	廃止
オンライン状況モジュール		廃止
汎用データベースモジュール		廃止
登録フォームモジュール		廃止
カレンダーモジュール		廃止

- スクリプト（JavaScript）で記述されているリンクは移行対象外です
- **WEKO2では日本語ページと英語ページがそれぞれ独立しているため、WEKO3ではメニューに両方のページが表示されます（例：「検索」と「Search」など）。機械的な統合は困難なため、移行後に機関側でメニューの修正をお願いします**
- 複数のモジュールをグルーピングしている場合のレイアウトの再現はできておりません
- WEKO2のモジュール内のCSSで「height: n%」（ $n > 90$ ）と指定していた場合、WEKO3の移行先ウィジェットを表示することができません
 - 対象ウィジェット：Notice、Free description、Header、Footer
 - 対応方法：管理画面＞Setting＞Widgetで「height: n%」を削除するか $n \leq 90$ に変更してください（日本語及び英語のウィジェットの両方）
- **WEKO2のモジュールで「顔文字を挿入」機能を使用して挿入された顔文字は移行対象外です（WEKO3では画像がリンク切れの状態になっています）**

- WEKO2のページスタイル>レイアウトで横幅・縦幅の狭いエリアにWEKOモジュールを設置している場合は、WEKO3でMain Contentsウィジェットが狭く（潰れたように）移行されている場合があります。WEKO2でWEKOモジュールを広いエリアに移動するか、またはWEKO3移行後にMain Contentsウィジェットのサイズを調整してください。



- ~~• Noticeウィジェット（← お知らせモジュール）について、「Read more」を表示する際はスクロール表示となります →先行移行で解消しました~~
- ~~• 検索結果の一覧やファセット項目等、一部文字が枠からはみ出るといった画面崩れが起きる場合があります【本番移行時には解消予定】 →解消しました~~
- ~~• トップページで複数のウィジェット（モジュール）を使用している場合、ウィジェットが正常に画面表示されない場合があります →第二次βテストで、p.37の問題（height > 90%）が原因だと判明しました~~
- ~~• メニューモジュールの「トップページ」にあたるリンクが移行されていません。トップページを表示する際は、ブラウザのアドレスバーにトップページURLを直接入力してください。【本番移行時には解消予定】（2020/7/8追記） →先行移行で解消しました~~

6. WEKO2管理情報

著者名典拠で使用されている外部著者ID Prefixの移行は以下の通りです。
 (アイテムメタデータで使用されているPrefixも同様の仕様で移行されます。)

#	WEKO2 著者ID(Prefix選択)	⇒	WEKO3 nameIdentifierScheme	
	prefix_name		統制語彙	説明
1	科研費研究者番号	⇒	e-Rad	府省共通研究開発管理システム (e-Rad) の研究者番号
2	研究者リゾルバーID		NRID	KAKEN研究者ページのID
3	WEKO著者ID		WEKO	WEKO2で使用していた著者ID—(WEKO3の著者IDとは異なるIDです)— ※OAI-PMH出力では出力されません
4	上記以外 (CiNii ID 等)		外部著者ID Prefix名称	上記以外の場合は、WEKO2の外部著者ID Prefix名称をそのまま移行します ※JPCOARスキーマで定義されていない語彙については、OAI-PMH出力では出力されません

- WEKO2の著者名典拠の言語「その他」（姓、名、姓(ヨミ)、名(ヨミ))の情報を移行する際、WEKO3では言語を空欄としています（WEKO3では「その他」に相当する選択肢がないため）
- 検索結果表示設定と詳細検索条件設定を移行しています
- インデックスの初期表示設定（トップページ画面の初期表示設定）を移行しています
- 著者のメールアドレス表示（アイテムリスト、アイテム詳細画面）をオフとして移行しています
- ファセット機能の初期設定を非表示として移行しています
- ランキングの表示設定を移行しています
- ハーベスティングの設定項目を移行しています
- ファビコンの設定を移行しています

7. URL仕様

URLの種類	変更	変換 (モジュール)	リダイレクト (URL転送)	WEKO2	WEKO3
トップページ	なし			https://****.repo.nii.ac.jp (または独自ドメイン)	同左 ※ただし「?lang={japanese english}」と言語指定のURLは使用できない
NetCommons2 ページ	あり	あり	なし	https://****.repo.nii.ac.jp/?page_id={page_id}	https://****.repo.nii.ac.jp/page/{page_id} ※モジュール内で左記形式のURLが使われている場合には移行時に自動的に変換される
お知らせモジュール の添付ファイル	あり	あり	なし	https://****.repo.nii.ac.jp/?action=common_download_main&upload_id={upload_id}	https://****.repo.nii.ac.jp/widget/uploaded/{upload_id}.{拡張子}/0
OpenSearch URL (インデックス)	あり	あり	なし	https://****.repo.nii.ac.jp/?action=repository_opensearch&index_id={index_id}	https://****.repo.nii.ac.jp/search?search_type=2&q={index_id} ※雑誌情報でERDB-JP連携をしている場合、ERDB-JP上のURLは自動的に更新される
雑誌情報連携URL (KBART)	なし			https://****.repo.nii.ac.jp/static/weko/kbart/filelist.txt	同左
OAI-PMH BaseURL (IRDBに登録されている形式)	なし			http://****.repo.nii.ac.jp/oai	同左
OAI-ID	なし			oai:****.repo.nii.ac.jp:{item_id} ※item_idはゼロ詰め8桁	同左

※独自ドメイン利用機関は、「****.repo.nii.ac.jp」部分を自機関のFQDNに読み替えてください

※変換（モジュール）＝モジュール内でWEKO2形式のURLが使用されていた場合、データ移行ツールでWEKO3形式に変換されます

URLの種類	変更	変換 (モジュール)	リダイレクト (URL転送)	WEKO2	WEKO3
アイテム詳細画面	あり	なし	あり ※～2023.3.31	<p>https://****.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id={item_id}</p> <p>https://****.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id={item_id}</p> <p>※item_idはYハンドルのsuffixとは一致しない</p>	https://****.repo.nii.ac.jp/records/{item_id}
本文ファイル	あり	なし	あり ※～2023.3.31	<p>https://****.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id={item_id}&file_id={file_id}&file_no={file_no}</p> <p>https://****.repo.nii.ac.jp/?action=repository_action_common_download&item_id={item_id}&item_no={item_no}&attribute_id={attribute_id}&file_no={file_no}</p> <p>※実際にファイルが存在する場合に限る</p>	https://****.repo.nii.ac.jp/record/{item_id}/files/{file_name}
Yハンドル	廃止	なし	あり ※～2025.3.31	<p>http://id.nii.ac.jp/prefix/suffix</p> <p>※suffixはitem_idと一致しない</p>	同左
CNRIハンドル	なし			<p>http://hdl.handle.net/prefix/suffix</p> <p>※suffixはitem_idとは一致しない</p>	
JaLC DOI	なし			<p>https://doi.org/prefix/suffix</p> <p>※自動採番の場合、suffixはYハンドルのsuffixと一致する</p>	

※独自ドメイン利用機関は、「****.repo.nii.ac.jp」部分を自機関のFQDNに読み替えてください

※変換（モジュール）＝モジュール内でWEKO2形式のURLが使用されていた場合、データ移行ツールでWEKO3形式に変換されます

- 自リポジトリ内部へのリンクだけが対象になります。他のJAIRO Cloudを含め外部サイトへのリンクは変換対象にはなりません
- 表に示した特定のパターンが対象になります。それ以外のパターンについては、期待通りの変換が行われない場合があります
 - 例) 「index.php」が含まれている場合
https://xxxx.repo.nii.ac.jp/index.php?page_id=xxxx
 - 例) OpenSearch URI以外のインデックスURL
https://xxxx.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=131&pn=1&count=20&order=3&lang=japanese&page_id=44&block_id=170
- 絶対パス、相対パスの両方が変換対象になります
 - 絶対パス : <https://xxxx.repo.nii.ac.jp/>～
 - 相対パス : /～
- <https://>～、<http://>～の両方が変換対象になります